

令和7年度「事業計画」について

はじめに

本会は、7年以上の長きにわたり検討・準備を進めて来ましたが、学士会館の整備・再開発計画について、昨年12月3日に開催された臨時代議員総会において、隣地所有者である住友商事㈱との共同再開発事業に踏み出すことを正式に決定いたしました。

それにより、令和7年度（2025年度）は、本会にとって今後5年間にわたる学士会館の再開発期間（2025年～2030年）の初年度となります。

昨年末、学士会館は多くの皆さまに惜しまれながら「閉館」（一時休館）いたしました。

本会の活動の全てが学士会館によって支えられてきた…、と言っても過言ではないほど、学士会館は本会にとってかけがえのない存在となっていました。しかしながら、今回の再開発により、今後5年間、この学士会館を使用できない状況が続くことになります。

会員をはじめ多くの皆さまにご不便を強いることになりますが、学士会館を使用できない5年間は、本会にとっても大変に厳しい5年間であり、この期間をどう乗り切っていくかは、今回の再開発事業を円滑に進めていく上でも極めて重要な課題となります。

学士会館の再開発計画は、この間の取り組みにより着実に前進を遂げて来ましたが、それでも本事業の成功のためには、共同事業者である住友商事㈱との信頼関係の維持・強化、東京都や千代田区を始めとする行政機関の理解と協力、学士会館の“曳家保存”という技術的課題、更には建築資材の高騰に伴う事業費の大幅増加とそれへの対応等々、克服すべき課題はまだまだ数多く残されています。

本年度はこれら課題を着実に解決し、再開発事業を円滑且つ確実に前進させていくための重要な一年となります。長年の課題である会員増強の面からも、今後大きな武器となり得る本再開発事業の推進を本年度の最重点課題に掲げるとともに、学士会館不在の厳しい事業環境を踏まえつつ、会員の皆さまに対してより魅力ある事業、より魅力あるサービスを提供できるよう取り組んで参ります。

1. 令和7年度重点課題

本年度は上記の状況を踏まえ、学士会館の再開発事業の推進を最重点課題に掲げ、以下の課題・事業に取り組んで参ります。

（1）学士会館の再開発計画に基づく共同再開発事業の着実な推進

- ・共同事業者との「事業協定書」締結 及び「等価交換契約」締結
- ・再開発事業費の大幅増加・高騰への対応
- ・開発許可取得及び総合設計制度の適用許可
- ・「共同ビル」の実施設計の確定と建築確認申請の実施
- ・学士会館新館の解体工事の円滑な実施
- ・仮事務所への移転と円滑な業務稼働

(2) 再開発期間中（＝学士会館閉館中）の学士会事業・会員サービスのあり方検討

- ・ 学士会館に依拠しない新たな事業・サービスの検討・試行実施（既存事業の見直し含む）
- ・ デジタルを活用した会員サービスの充実
- ・ 閉館期間中の会館代替機能の検討・調整・斡旋
- ・ 再開発後の会館サービス及び新規サービスの検討

(3) 再開発期間中の適切な資金管理 及び 再開発後の事業運営体制の検討

- ・ 特定資産の適正な管理と必要再開発事業費への適切な資金対応
- ・ 既存事業の必要性・採算性の検証による費用削減の実現と収支改善
- ・ 再開発後の学士会館の運営体制の検討

2. 実施事業・活動

本年度は上記の重点課題を推進すると共に、以下の諸事業・諸活動に取り組んで参ります。

(1) 会員向け事業及び会員サービスの実施

- ☐ 『學士會会報』・W e b 版『NU 7』の発行及び内容の充実
- ☐ ハイブリッド講演会（来場＋オンライン）の実施・定着化、周知徹底
- ☐ 首都圏以外の地域でのイベント実施（関西茶話会、見学会・体験会等）
- ☐ 学士会館デジタルアーカイブの公開とコンテンツの充実化
- ☐ 会報・公式 HP 等での学士会館再開発事業の進捗状況の報告・周知
- ☐ 『W e b 名簿閲覧システム』（デジタル版「会員氏名録」）の利用・活用促進
- ☐ 同好会活動の支援、W e b 交流会等の会員による親睦・交流目的の自主的活動支援
- ☐ 会員及び七大学出身者による地域単位での交流・ネットワーク形成の支援
- ☐ 提携企業等による会員向け各種サービスの斡旋・提供、新規サービスの開拓

(2) 七大学及び七大学関連団体との連携及び活動支援

- ☐ 七大学及び同窓団体との共催・協働による講演会・交流会・セミナー等の実施
- ☐ 「全国七大学総合体育大会」協賛、七大学学生・OB団体活動に対する支援や協力

(3) 会員増強に向けた活動の展開

- ☐ 七大学の協力による入学時の学生会員登録活動の実施
- ☐ 学生会員向けサービスの充実化と情報提供の強化
- ☐ 学生会員から正会員への移行施策の検討・試行実施
- ☐ 新卒入会者へのフォローアップ